

市川
歴史博物館

館蔵資料小展示「ちょっと怖い絵」展

暑い夏をすこしだけ涼めるようなミニ展示、
「ちょっと怖い絵」展 を7月21日から開催します。



今回は展示予定の資料から『水戸黄門仁徳録』を取り上げます。『水戸黄門仁徳録』とは水戸黄門こと徳川光圀の一代記で、これは光圀の没後に家臣たちが光圀の功績をまとめた『義公行実』を下敷きに脚色を加えた物語です。初めは小説として読まれ、明治時代には歌舞伎にもなりました。

物語の中で、光圀が八幡の藪知らずに入る話があります。「藪知らずに入ったら二度と出られない」という噂を聞いた光圀は真偽を確かめようと中に入りました。迷いながら中を進んでいくと神仙に出会います。たくさんの妖怪たちが光圀を取り囲みますが、臆することなく神仙と対峙しました。当資料はその場面を描いたもので、うっそうとした藪の中に女官やコウモリ、猿のような姿をした妖怪たちが描かれ、不気味な雰囲気が漂っています。このあと光圀は神仙に藪から追い出され、今後人が中に入らないように高札を立てました。

これがよく知られている藪知らずの話ですが、平将門の家臣が土人形になって崇るとい話もあります。他にも当展示では藪知らずをはじめ、弘法寺の涙石や里見公園の夜泣石など、市内の「ちょっと怖い」場所や昔話を紹介しつつ、館蔵の幽霊や妖怪が描かれた浮世絵や江戸時代の本を紹介したいと思います。【歴史博物館】

第47回市川市むし歯予防大会



6月1日(水)「第47回市川市むし歯予防大会」が生涯学習センターにおいて3年ぶりに対面の形で開催されました。会の中で行われた健歯審査では、各学校から健歯(むし歯がなく歯並びも良い)として選ばれた児童・生徒の中から優秀者を決定し、表彰が行われました。また、同時に歯と口の健康週間の作品(図画・ポスター・作文)に入賞した児童の表彰も行われ、当日来賓として出席された田中甲市長からの挨拶もあり、思い出に残る大会となりました。

市川市では、このむし歯予防大会と併せて、すこやか口腔検診を実施する予定です。そこでは、歯みがきの回数、食生活や運動量、だ液の質、噛む力なども調べており、むし歯を予防するためには、歯みがきの習慣を身に付けながら、口の中の健康に関心を持ち、歯ごたえのある物を食べることが大切だということを学びます。今回応募されたポスターにもむし歯予防の大切さをイラストで表現した作品などがあり、審査員の先生方から高い評価を受けていました。この大会が、参加した子供たちにとって、むし歯の予防を考えるよいきっかけになってくれればと思います。

【保健体育課】

絵画、ポスター優秀作品



加納瑠人さんの作品



加納迅人さんの作品

家庭教育学級

みなさん、子育てを楽しんでいますか？
みなさん、子育ての悩みを一人で抱え込んでいませんか？



【富貴島小学校での開級式の様子】

『家庭教育学級』は「子供に関わり合う大人が学び合う場」です。

『家庭教育学級』では、「子育てについて学び合う」「交流を深める」「親子のコミュニケーション」、この3つを柱に掲げ、活動を進めております。

子を持つ親の誰もが、よりよい子育てを願いながら日々過ごしていると思います。しかし、なかなか思うようにいかないこともあります。

そんな時、『家庭教育学級』に参加してみたいはいかがでしょうか？

今年度、幼稚園では「ものづくり講座」を、小学校では「運動会に向けてのカメラの使い方講座」や「校内探検ツアー」を、中学校では「進路指導講座」を計画している学校もあるようです。

『家庭教育学級』に参加することで、気持ちが少し楽になったり、新しい発見があったりするかもしれません。

一人で悩まず、みんなで共有しましょう！

そして、親として、子どもと一緒に成長しましょう！

いつでも、待っています。 【学校地域連携推進課】

市川市 放課後保育クラブ

市川市放課後保育クラブは、保護者等が就労等により放課後家庭にいない小学生の健全な育成を図ることを目的として、家庭に

適切な遊び及び生活の場を提供しており、市内47ヶ所に開設しています。現在、指定管理者制度により、社会福祉法人市川市社会福祉協議会が全ての保育クラブを運営しています。

保育クラブでは、支援員のもとで宿題をしたり、おやつを食べたり、友達と遊んだりして過ごします。また、遠足やお誕生会などのイベントも催されています。

保育クラブの情報や入所手続きなどのご案内は、市川市公式Webサイト内、青少年育成課のホームページに掲載しておりますのでご確認ください。【青少年育成課】



★小・中学校の講師募集★

～あなたの教員免許を生かし、
市川市の子供たちのために働きませんか～



市川市教育委員会では、市内の公立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校に勤務できる講師等を随時募集しています。

1. 募集職種

(1) 県費講師:産前産後休暇等の代替 等

○常勤(38時間45分勤務/週)

給与:月額20万円程度～(経験による)交通費支給有

(2) 市費補助教員:教科の指導のサポート・学級担任の補助 等

○週2日～(最大5日35時間)(8:15～16:00)

時給1,100円以上(職種による)交通費支給有

2. 応募方法

義務教育課・教職員班へ電話でご連絡ください。

TEL 047-383-9261

3. その他

※HPも併せてご覧ください。